



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月31日

上場会社名 日本ケミファ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4539 URL <http://www.chemiphar.co.jp/>  
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）山口 一城  
 問合せ先責任者（役職名）執行役員管理部長（氏名）中島 慎司 TEL 03-3863-1211  
 半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	15,626	5.3	76	—	△62	—	△44	—
2024年3月期中間期	14,837	△8.6	△298	—	10	△98.6	31	△96.5

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 274百万円(28.3%) 2024年3月期中間期 213百万円(△67.4%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△12.26	—
2024年3月期中間期	8.72	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	52,024	18,552	35.7	5,141.81
2024年3月期	49,548	18,460	37.3	5,116.02

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 18,552百万円 2024年3月期 18,460百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	2.4	200	—	100	—	60	—	16.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	4,261,420株	2024年3月期	4,261,420株
2025年3月期中間期	653,296株	2024年3月期	652,976株
2025年3月期中間期	3,608,220株	2024年3月期中間期	3,609,019株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(第2四半期(中間期)決算補足説明資料の入手方法)

第2四半期(中間期)決算補足説明資料は、第2四半期(中間期)決算短信開示後速やかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結会計期間 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
中間連結会計期間 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(5) 重要な後発事象 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、物価上昇懸念から一部に足踏みが残るものの個人消費は賃金の伸びを背景に改善基調が続き、企業収益の改善や設備投資の持ち直しも背景として、緩やかな回復傾向が続きました。

医薬品業界については、2024年度の薬価制度改革を受けた医薬品の安定供給確保に向けた検討が進められるとともに、9月末には厚生労働省により「安定供給の確保を基本として、後発医薬品を適切に使用していくためのロードマップ」および「バイオ後続品の使用促進のための取組方針」が策定・公表されました。

このような環境下、当社グループにおきましては、品質のさらなる向上と製造能力の増強を目的として、子会社である日本薬品工業株式会社つくば工場3号棟において、新設備の実装工事が完了いたしました。また8月にはベトナムにおいて、Nippon Chemiphar Vietnam Co.,Ltd. が胃炎・胃潰瘍治療剤「レバミピド錠100mg」の現地供給を開始しています。

#### (医薬品事業)

アレルギースクリーニング機器・試薬「ドロップスクリーン」は、患者さんや医療機関からの高評価を背景に順調に普及が進んでいることに加え、当社医薬営業部門によるプロモーションサポートや他社との販売提携などの営業施策が奏功していることなどにより、9月末現在で国内累計設置台数が約1,300台になり、臨床検査薬の売上高は2,227百万円（前年同期比22.5%増）と好調裡に推移しています。

ジェネリック医薬品については、4月薬価改定の影響を受けている一方、拡販に注力する製品への選択と集中を進めたことなどにより、売上高は11,569百万円（前年同期比3.8%増）となりました。また、主力品・新薬の売上高については、薬価改定の影響により、542百万円（前年同期比18.9%減）となり、ジェネリック医薬品と主力品・新薬を合わせた医療用医薬品の売上高は12,111百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

以上の結果、製造受託なども含めた医薬品事業全体の売上高は15,055百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は38百万円（前年同期は営業損失355百万円）となっております。

#### (その他)

主に受託試験事業、ヘルスケア事業及び不動産賃貸事業である「その他」の事業については、売上高は570百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は38百万円（前年同期比31.9%減）となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は15,626百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は76百万円（前年同期は営業損失298百万円）、為替差損の計上等により経常損失は62百万円（前年同期は経常利益10百万円）、親会社株主に帰属する中間純損失は44百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益31百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

#### 1) 資産

流動資産は前期末に比べて1,096百万円増加し、32,933百万円となりました。これは、主に現金及び預金の増加によるものです。

固定資産は前期末に比べて1,379百万円増加し、19,091百万円となりました。これは、主に建物及び構築物の増加によるものです。

この結果、総資産は前期末に比べて2,476百万円増加し、52,024百万円となりました。

#### 2) 負債

流動負債は前期末に比べて692百万円増加し、14,479百万円となりました。これは、主に未払金の増加によるものです。

固定負債は前期末に比べて1,691百万円増加し、18,993百万円となりました。これは、主に長期借入金及びリース債務の増加によるものです。

この結果、負債合計は前期末に比べて2,384百万円増加し、33,472百万円となりました。

#### 3) 純資産

純資産合計は前期末に比べて91百万円増加し、18,552百万円となりました。これは、主に配当金の支払いがあった一方、為替換算調整勘定の増加などによるものです。

### ② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における連結ベースの現金及び現金同等物は、営業活動により702百万円増加いたしました。また投資活動においては88百万円の減少、財務活動においては974百万円の増加となりました。

この結果、当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は10,805百万円（前年同期比4.6%減）となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において、営業活動による資金は、その他流動負債の増加などがあったものの、売上債権及び契約資産の減少及び、減価償却費の計上などにより、702百万円の増加（前年同期は592百万円の増加）となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において、投資活動による資金は、有形固定資産の取得などにより、88百万円の減少（前年同期は1,418百万円の減少）となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において、財務活動による資金は、長期借入金の返済や配当金の支払などがあった一方で、長期借入金の調達などにより、974百万円の増加（前年同期は1,548百万円の増加）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期連結業績予想につきましては、2024年5月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,200	10,805
受取手形、売掛金及び契約資産	7,736	6,974
電子記録債権	3,790	3,578
商品及び製品	5,785	6,032
仕掛品	1,476	1,364
原材料及び貯蔵品	3,461	3,563
未収還付法人税等	20	5
その他	364	608
流動資産合計	31,836	32,933
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	4,541	7,716
機械装置及び運搬具 (純額)	1,337	1,426
工具、器具及び備品 (純額)	387	379
土地	4,344	4,344
リース資産 (純額)	171	773
建設仮勘定	2,442	29
有形固定資産合計	13,224	14,670
無形固定資産		
特許権	10	8
商標権	47	43
販売権	100	25
リース資産	73	79
ソフトウェア	40	30
電話加入権	9	9
無形固定資産合計	281	197
投資その他の資産		
投資有価証券	2,066	1,862
長期前払費用	492	525
退職給付に係る資産	967	1,043
敷金及び保証金	52	50
繰延税金資産	267	382
その他	420	420
貸倒引当金	△61	△61
投資その他の資産合計	4,206	4,223
固定資産合計	17,712	19,091
資産合計	49,548	52,024

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,020	1,995
電子記録債務	4,958	5,223
短期借入金	568	302
1年内返済予定の長期借入金	2,801	3,192
リース債務	86	165
未払金	82	1,174
未払法人税等	73	75
未払消費税等	301	25
未払費用	2,032	1,634
預り金	213	175
返金負債	210	190
その他	437	323
流動負債合計	13,786	14,479
固定負債		
長期借入金	13,344	14,420
リース債務	182	782
役員退職慰労引当金	483	486
退職給付に係る負債	128	133
再評価に係る繰延税金負債	915	915
その他	2,246	2,254
固定負債合計	17,301	18,993
負債合計	31,087	33,472
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,304	4,304
資本剰余金	1,263	1,263
利益剰余金	13,273	13,046
自己株式	△3,111	△3,111
株主資本合計	15,729	15,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	455	318
土地再評価差額金	2,072	2,072
為替換算調整勘定	△95	371
退職給付に係る調整累計額	298	286
その他の包括利益累計額合計	2,731	3,049
純資産合計	18,460	18,552
負債純資産合計	49,548	52,024

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年 9月 30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年 9月 30日)
売上高	14,837	15,626
売上原価	11,204	11,510
売上総利益	3,632	4,115
販売費及び一般管理費	3,931	4,039
営業利益又は営業損失 (△)	△298	76
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	19	23
固定資産賃貸料	3	3
持分法による投資利益	12	4
為替差益	337	-
保険配当金	1	1
その他	12	7
営業外収益合計	388	43
営業外費用		
支払利息	69	90
為替差損	-	78
支払手数料	3	6
その他	6	7
営業外費用合計	79	182
経常利益又は経常損失 (△)	10	△62
特別利益		
新株予約権戻入益	17	-
特別利益合計	17	-
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失 (△)	27	△62
法人税、住民税及び事業税	25	28
法人税等調整額	△29	△46
法人税等合計	△3	△17
中間純利益又は中間純損失 (△)	31	△44
非支配株主に帰属する中間純利益	-	-
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失 (△)	31	△44

## 中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益又は中間純損失 (△)	31	△44
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	174	△136
為替換算調整勘定	15	467
退職給付に係る調整額	△7	△12
その他の包括利益合計	182	318
中間包括利益	213	274
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	213	274
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失 (△)	27	△62
減価償却費	715	640
返金負債の増減額 (△は減少)	△23	△20
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	12	2
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1	4
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△93	△92
受取利息及び受取配当金	△21	△26
支払利息	69	90
為替差損益 (△は益)	△337	78
新株予約権戻入益	△17	-
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	425	976
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,066	△145
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△70	65
長期前払費用の増減額 (△は増加)	24	14
仕入債務の増減額 (△は減少)	△111	245
未払消費税等の増減額 (△は減少)	20	△209
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	138	△477
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	601	7
その他	158	△331
小計	450	761
利息及び配当金の受取額	32	37
利息の支払額	△67	△85
法人税等の支払額	△44	△30
法人税等の還付額	220	20
営業活動によるキャッシュ・フロー	592	702
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,413	△90
無形固定資産の取得による支出	△5	△0
差入保証金の回収による収入	1	1
その他	△1	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,418	△88
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	40	△266
長期借入れによる収入	3,100	2,850
長期借入金の返済による支出	△1,367	△1,382
配当金の支払額	△182	△182
その他	△41	△45
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,548	974
現金及び現金同等物に係る換算差額	69	16
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	791	1,604
現金及び現金同等物の期首残高	10,529	9,200
現金及び現金同等物の中間期末残高	11,321	10,805

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計	調整額	中間連結損益 計算書計上額
	医薬品事業				
売上高					
医療用医薬品	12,475	—	12,475	—	12,475
臨床検査薬	1,769	—	1,769	—	1,769
その他	—	542	542	—	542
顧客との契約から生じる収益	14,244	542	14,787	—	14,787
その他の収益	48	1	49	—	49
外部顧客に対する売上高	14,293	544	14,837	—	14,837
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	2	5	△5	—
計	14,297	546	14,843	△5	14,837
セグメント利益又は損失(△)	△355	56	△298	—	△298

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、安全性試験の受託等、ヘルスケア事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額	中間連結損益 計算書計上額
	医薬品事業				
売上高					
医療用医薬品	12,827	—	12,827	—	12,827
臨床検査薬	2,179	—	2,179	—	2,179
その他	—	569	569	—	569
顧客との契約から生じる収益	15,007	569	15,577	—	15,577
その他の収益	47	1	48	—	48
外部顧客に対する売上高	15,055	570	15,626	—	15,626
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	56	61	△61	—
計	15,059	627	15,687	△61	15,626
セグメント利益	38	38	76	—	76

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、安全性試験の受託等、ヘルスケア事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 医薬品事業における「臨床検査薬」の重要性が増したため、前連結会計年度末より医薬品事業の顧客との契約から生じる収益を「医療用医薬品」及び「臨床検査薬」に区分しております。この表示方法の変更を反映させるため、前中間連結累計期間の顧客との契約から生じる収益は、変更後の区分に基づき作成しております。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。